

PREMIO お役立ち情報

電気自動車の普及につれて更にロードサービスの 必要性が高まる



米国だけで過去5年間における電気自動車（EV）の販売台数が1億台を超えました。2035年にはカリフォルニア州でのガソリン車の新車販売が全面禁止する計画を控え、今後も毎年約23-25%販売率が上昇するであろうと予測されています。新車の多くには納車から2、3年間または規定走行距離内に対するロードアシスタンスサービスが付帯されています。Consumer Reportsによると3年経過したEV車はガソリン自動車より平均して4割以上もの確率で何かしら問題を抱えていると調査結果が出ています。例年の進化により前年までの特有の問題に対する改善はされつつあるものの、EV車の普及とともにロードアシスタンスサービスの必要性は更に高まると言えるでしょう。

EV車の主な出動依頼とロードアシスタンスサービスを必要とする理由

●タイヤのパンク/バースト/空気圧不足

最近の車にはスペアタイヤがありません。バッテリーのスペース確保や軽量化、そしてほぼ使用しないまま処分されるため環境保護を考慮してのようです。道路に落ちていた釘を踏んでしまうかは車種に限らず起こりえることです。もし急なタイヤのパンクなどで困った際はプレミオカーライフサポートにご連絡ください。

●EVバッテリー（電欠）

EVの電装品や補器類用の12Vバッテリーであればジャンプスタートが可能と言われていますが、車が走るための駆動用バッテリーの問題であればジャンピングスタートはできません。憶測での対応はしようとせずにお困りの際はロードアシスタンスサービスに救援依頼の連絡をしましょう。

●EVバッテリー切れの対応

ガソリン車のガス欠よりも多いのがEVバッテリー切れです。提供されるサービスの多くが牽引またはレッカーにて近くの充電スポットまで搬送をしてもらう方法です。駆動輪を持ち上げて牽引できる場合もあるようですが、車両の損傷を防ぐために四輪全てを持ち上げた状態のレッカー手配となる事が多いでしょう。

PREMIO CAR LIFE SUPPORT

24時間365日、日本語で緊急ロードサービスを手配いたします。

パンク



レッカー移動



バッテリー上がり



ガス欠



インロック



落輪



法人割引プラン

個人プラン



法人お問合せ先：salesmarketing@premio.com